

# 与那原警察署協議会 議事概要

開催年月日	令和元年10月16日（水）17：30～18：30	
開催場所	与那原警察署	
出席者	協議会委員 (5名)	大城 保、木村 悟、屋比久 末実、山崎 咲貴、屋我 英樹
	警察署 (12名)	署長、副署長、各課長等
議 事 概 要	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 少年非行対策概況等説明</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 少年問題について</p> <p>委員： 少年非行対策概況の説明で、平成25年以降、少年補導件数が減少しているとのことであるが、最近では、高校生の中途退学者や不登校者が増加していると聞いた。</p> <p style="padding-left: 2em;">インターネットやSNSの普及により、戸外へ出回る少年が減ったことも、少年補導件数の減少に繋がっていないか。</p> <p>警察： 御意見のとおり、インターネットの普及で、子供達の意識も変化しており、また、それに対応する保護者の意識も多様化している。そのような状況も、少年補導数が減少した一因となっている。</p> <p>委員： 最近では、小中学生もパソコンやスマートフォンに慣れ親しんでいるが、その反面、サイバー犯罪に少年が巻き込まれているのではないかという懸念もある。</p> <p>警察： 少年が巻き込まれるネット犯罪の中でも、特殊詐欺事案や女子中高校生を対象とした性犯罪事案が増加している。</p> <p>委員： 過去には、少年が年齢を偽り、居酒屋で酒盛りする行為も見受けられた。現在も、そのような行為はあるのか。</p> <p>警察： 現在は、関係団体等の協力による居酒屋対策等によって、少年の居酒屋利用は殆ど無くなっているが、その反面、人目を忍んで公園や空き家などで飲酒する行為は見受けられる。</p> <p>委員： このような少年等は、どのように酒類や煙草を入手しているのか。</p> <p>警察： 幾つかの方法が確認されているが、先輩や有職少年等から入手したり、自宅から持ち出すことが多い。中には、万引きや窃盗によって入手することも少なくない。</p> <p>委員： 私は、月1回の地域の夜間パトロールにも参加しているが、</p>	

議事概要

毎回同じコースを巡回していて、少年を見かけることは殆どない。コースを変えることなども検討した方がいいか。

警察： 巡回コースを変える等のアイデアは必要であるが、実は、少年等の情報網は発達しており、夜間パトロールなどの情報を事前に把握していることも多い。

しかしながら、夜間パトロールを実施することが、少年等の外出や非行の抑止に繋がっていることから、是非とも継続していただきたい。

委員： 管内に“ウガンメー公園”があり、地域住民の憩いの場となっているが、遊具やベンチ等が何度も壊されている。

防犯カメラを設置する等の対策を講じているが、一向に改善されていない。

同公園で、少年等がたむろしているなどの情報はないか。

警察： そのような訴えは確認されていないが、その様な状況があれば、パトロールを強化したい。また、設置物の損壊等があれば、被害届を提出することも検討していただきたい。

(2) 交通事故防止対策について

委員： 地域住民から、県道77号（糸満・与那原線）と元法務局前の交差する道路が拡張されたことについて、同道路を速度超過ぎみに走行する車両が多くなっているが、標識等が設置されていないため、非常に危険であるとの声が上がっている。

速度規制をするなどの措置はできないか。

警察： まずは、現地調査を早急を実施し、危険とされる状況や交通量、歩行者の通行状況等を検証し問題点を抽出したい。必要であれば、設置基準に基づいて、規制の種別を含めて検討したい。

(3) 次回の（第3回）協議会の協議テーマについて

委員： 先日、ニュース等で話題となった「あおり運転」や危険運転について、主な原因は運転手のマナーの悪さやモラルの欠如だと思うが、そのような危険運転の防止対策等を次回の協議テーマにするのはどうか。

警察： 危険運転防止対策は、非常に対策が講じづらい問題であるが、県警察において取り組んでいる交通安全運転教養や交通事故対策等の交通対策の実施状況を踏まえて、協議を行いたいと思う。

委員： 異議なし。（全員一致）

以上